



# DI News



## 2020年度夏号

浦添総合病院 医薬品情報誌

担当：宮里・益田 作成者：益田



### 今回のニュース



- 1.ポリファーマシー
- 2.牛乳との飲み合わせ
- 3.金属含有薬との飲み合わせ

## 1.ポリファーマシーの取り組み開始！ ～薬剤の減量などを医師と検討しています～

### ポリファーマシーとは？



ポリファーマシーは「poly(複数)」+「pharmacy(調剤)」からなる言葉で、多剤併用の中でも害をもたらすものを表します。  
 不要な薬剤や、重複薬剤などが問題点として挙げられており、死亡率の上昇などとの関連が指摘されています。

### 介入の流れ

薬剤師



この薬は不要かも・・・？

医師と協議



医療従事者



変更後、どうですか？

スクリーニング実施  
対象：病院総合内科

診療科カンファレンス  
開催日：毎週火曜日

モニタリング

当院では、2019年4月に病院総合内科が新設され、医師・薬剤師連携によるポリファーマシー対策が開始となりました。減薬後は担当看護師さんと注意点を情報共有しつつ、モニタリングを行っています。

### 【症例】

女性 93歳 持参薬9剤服用中

(中止理由)

8  
剤  
中  
止

- ・眠剤(ゾピクロン、ベルソムラ) → 転倒のリスク高い
- ・下剤(酸化マグネシウム) → 高Mg血症あり
- ・胃薬(ランソプラゾール、レバミピド) → 胃部不快感なし
- その他3剤



⇒その後、睡眠良好。排便はピコスルファートなど使用し調整。胃部不快感無し。

## 2.牛乳と薬の飲み合わせ！



胃が荒れやすいから、牛乳と薬を一緒に飲んで良いかな？

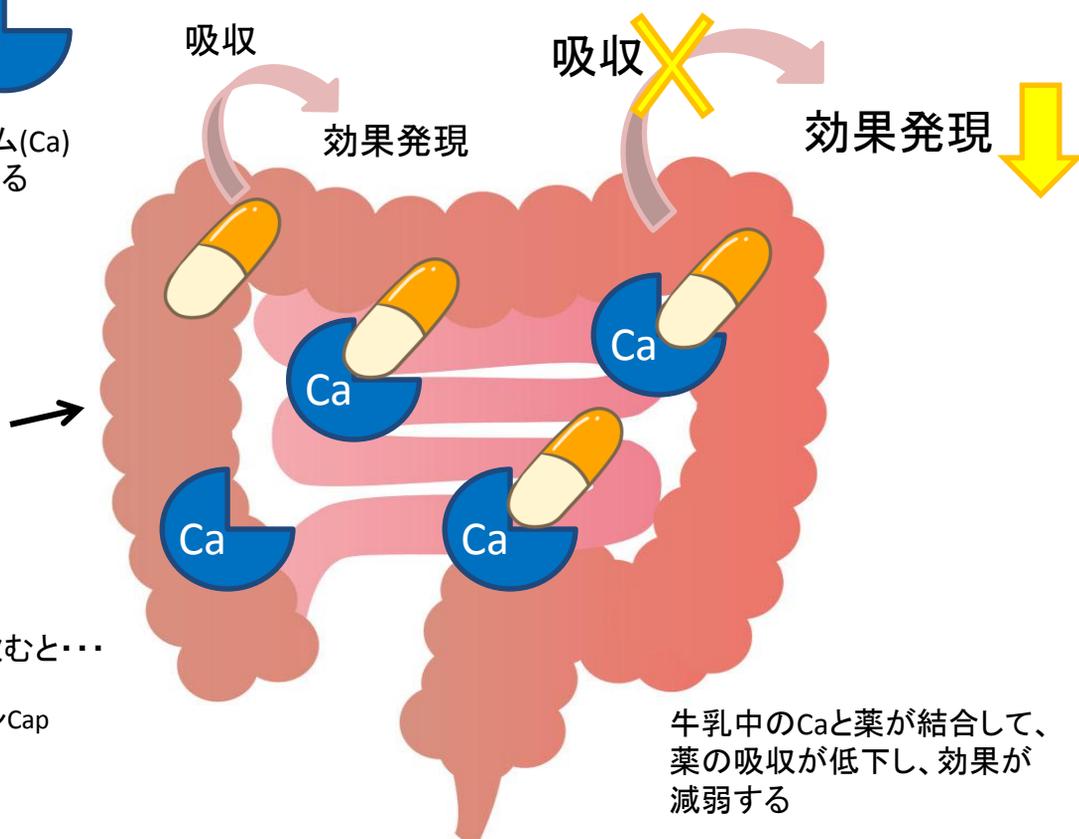
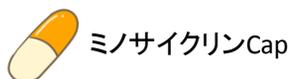
薬によっては、効果が下がるものがあるよ  
**ミノサイクリン**は牛乳と一緒に飲むと、3割程度  
効果が弱くなる可能性があるんだ



牛乳にはカルシウム(Ca)  
がたくさん含まれてる



牛乳と一緒に薬を飲むと...



### [入院中の対策]

ミノサイクリンと牛乳の飲むタイミングを**2～4時間空ければ問題ありません**。そこで...

〈1日1回朝食後で処方された場合〉

★ミノサイクリンの服用時間を、**昼または夕に変更**できるか医師に相談します  
(朝食に牛乳などの乳製品が出るが多いため)

〈1日2回朝夕食後で処方された場合〉

1日の必要量は十分量あるとし、特に変更せずそのまま服用して頂きます  
ただし、薬を牛乳で服用することは避けてください

### 3. 金属含有薬剤と薬の飲み合わせ ～カルシウムは牛乳以外にも含まれており注意が必要～



当院に、「沈降炭酸カルシウム」って薬があるけど、それも牛乳みたいに、薬の効果を下げたりするの？

その通り！勘が良いね！  
ちなみに、カルシウム以外にも、マグネシウムや鉄、アルミニウムも薬の効果を下げることがあるんだよ



#### 金属イオン(Ca, Mg, Fe, Al)が含まれる薬剤 (当院)

金属イオン	金属イオンを含む薬剤	写真					
カルシウム (Ca)	① 沈降炭酸カルシウム ② アスパラCA ③ 乳酸カルシウム ④ ポリフル	①	②	③	④		
マグネシウム (Mg)	① 酸化マグネシウム	①					
鉄 (Fe)	① クエン酸第一鉄 ② フェロミア ③ フェロ・グラデュメット ④ リオナ ⑤ ピートルチュアブル ⑥ インクレミンシロップ	①	②	③	④	⑤	⑥
アルミニウム (Al)	① アルサルミン ② アルジオキサ	①	②				

# 金属イオン(Ca, Mg, Fe, Al)が含まれる薬剤(当院)と一緒に飲むと 吸収が低下する薬剤

金属イオン	吸収が低下する薬剤	写真
カルシウム (Ca)	①ミノサイクリン	①
マグネシウム (Mg)	①ミノサイクリン ②フェキソフェナジン ③ロスバスタチン (③50%も吸収が下がる!) ④ガバペン ⑤レボフロキサシン ⑥シプロフロキサシン	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
アルミニウム (Al)	⑤レボフロキサシン ⑥シプロフロキサシン	⑤ ⑥
鉄 (Fe)	①ミノサイクリン ②シプロフロキサシン ③スタレボ ④ドパコール ⑤ドプス ⑥ネオドパゾール	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

各種添付文書参考

飲むタイミングを2~4時間空けるなど対応していきます



酸化マグネシウム(Mg含有)は良く使われるけど、  
意外と併用薬に注意が必要なんだね~

## DIメンバー紹介



2020年度DI (Drug Information: 医薬品情報)担当の  
宮里(写真左)と益田(写真右)です。  
DI Newsは季刊誌として発行していく予定です。  
日々の業務で薬剤について困ったことがあれば  
医薬品情報室へお問い合わせください。(PHS:6316)

